

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8229
担当部課名	市民部	交通安全	課	
事務事業名	婦人交通整理員負担金		事業コード	23210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第2節	安心して暮らせるまちづくり	~63 年度
施策名	第1施策	交通事故のないまちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

婦人交通整理員事業運営要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
県が実施する婦人交通整理員事業の事業費を市が一部負担し、神奈川県交通安全協会において、特別職員として婦人交通整理員を雇用し、主として、児童等の通学及び帰宅時の安全を確保するために必要な交通の整理誘導を行うほか、併せて一般歩行者の通行の安全を図る。		神奈川県交通安全協会	
		対象数	1
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
婦人交通整理員8名を配置(うち市費負担分は5名) 配置場所 市費：光が丘・共和・清新・桜台・大沼小学校区 県費：大沢・並木・大野台小学校区 13年度市負担金の内訳 給料・加給金7,501,200円 社会保険料等 958,251円 事務費 250,739円 計 8,710,190円		交通安全指導の推進	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
計画年次	年度~ 年度		

4 評価指標

指標名	交通事故防止達成率		
指標式	100 - (今年度事故のあった配置箇所 / 配置箇所 * 100)		
指標設定の意図	整理員が配置された危険箇所での交通事故防止の達成率を示すため		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	15,707	12,013	8,710	10,589	7,164
	人員・時間数	(0.05人)	(0.05人)	(0.05人)	(0.05人)	(0.05人)
	人件費	421	421	421	421	421
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	16,128	12,434	9,131	11,010	7,585
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している (100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$ $\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	整理員配置箇所において、交通事故は起きていないため。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 市内での交通事故が増加している中、整理員の配置は必要であると考えられる。
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 整理員配置箇所において、交通事故は起きていないため。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 県の事業であり、市ではこの事業とほぼ同じ目的をもった独自の事業が実施されており、本制度での代替が考えられる。
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 児童等の通学路の危険箇所、長い期間整理員の仕事についての職員が立つことによって、配置箇所での交通事故が起きていないため。
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 集団登校時等の道路横断の安全性を確保するのに有効であるため。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 事故を抑制するという目標は達成している。また、県は退職者の不補充を決めているため。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 婦人交通整理員が不補充とされていることから減員されており、今後、他の施策への見直し検討が必要。</p>

7 総合評価

評価	A	他自治体の類似事業との比較	県下21地区(市・町・警察署管内) 185名(県費84名、市費101名) 相模原市 8名(県費3名、市費5名)
今後の進め方		説明	今後も交通事故0を目指し、県の事業を通して実現していく。
<input type="checkbox"/>	継続		
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

・他の制度への代替を行ない、時限を定めて廃止すべきである。